

令和4年度 地方創生推進交付金活用事業



MAIBARA CITY SALES

健康でエコなマイクロツーリズム推進プロジェクト (2/3年目)

横連携 県：事業連携

地方創生推進交付金 R4年度歳入予算：2,237千円(事業費4,474千円)

【目指す将来像】

- ・ビワイチやビワイチプラス等の人気の高まりにより、琵琶湖畔から内陸部への流れが生まれている。
- ・幅広い客層が県内でのサイクリングをゆっくり、長く楽しむことができ、その中で感じられた健康長寿を育む滋賀の暮らしや食、文化といった魅力の数々を旅人自らが拡散する好循環が生み出されている。
- ・旅行者自らの旅のスタイルに合わせて健康でエコな交通手段を選択できるように、サイクルステーションや二次交通基盤、雨天時のバックアップ等が整備されている。
- ・多くの人々がサイクルツーリズムを選択することで環境負荷の低いサステナブルな観光への転換が進むとともに、サイクリングによる旅行者の健康維持にもつながっている。

令和3年度の取組

- 滞在型サイクリングイベント（びわ湖の素キャンプ&Eライド）
電動アシスト自転車によるサイクリングやテント泊を楽しむツアー
- ゲートウェイとしての米原駅西口円形広場のPRイベント
（近江美食フードカーマーケット・ペアリングの祭典 おつまみフェス）
- 伊吹山ライブカメラによる魅力発信
- ジャパンエコトラック普及啓発（パンフレット作製・マップ設置）

令和4年度の取組

- 滞在型サイクリングイベント **★NEW**
ビワイチアプリを活用した期間限定のスタンプラリーを実施
- 米原駅西口円形広場の活用促進 **★NEW**
イベント等の充実に向けてベンチ6台を設置
- 伊吹山ライブカメラによる魅力発信
- ジャパンエコトラック普及啓発
英語版パンフレットの作成、
モンベルフレンドフェアへの参加



重要業績評価指標 (KPI)

KPI(滋賀県全体)	(単位)	開始時点 (2020年)	2023年度ま での増加分
健康でエコな マイクロツーリズムによる 経済波及効果額	(百万円)	0	813
サイクルツーリズムの 自転車利用に伴うCO ₂ 削減量	(t-CO ₂)	0	1,148
女性・ファミリー向け サイクリング体験イベント 参加者数	(人)	0	1,850

NEW

滋賀ならではの価値ある資源と観光を掛け合わせてつくる 「シガリズム」推進プロジェクト（1/3年目）

横連携

県:事業連携

地方創生推進交付金 R4年度歳入予算:9,560千円(事業費19,121千円)

【目指す将来像】

- * シガリズムとは…コロナ後を見据えた新たな時代の流れに対応し、自然と歩みをそろえてゆっくり、丁寧に暮らしてきた滋賀の時間の流れや暮らしを体感し、心のリズムを整える観光スタイルのこと。
- ・行政や民間等の多様な主体が連携することで琵琶湖をはじめとした豊かな自然環境、多様な歴史・文化、地場産業、暮らしそのものについて、一層魅力を高めながら有効活用することができている。また、観光のみならず地域の幅広い産業との相乗効果を発揮することで、地域経済の活性化にもつながっている。
- ・自然環境や歴史文化等の保存と活用の好循環が図れている。また、環境負荷の低減と地域経済活性化のバランスがとれた持続可能な産業が創出できている。
- ・地域住民との交流を通じ、何度も滋賀を訪れる滋賀ファンを増やすことで交流人口、関係人口を増加させ、住民自らの地域への愛着や誇りの醸成につながる地域づくりができている。

令和4年度の取組

- 動画作成講座、動画コンテストの開催
- インターネットサイトのリニューアル
- 米原駅でのInstagram投稿写真やパブリックアートの展示
- 古民家を活用したDIY体験教室
- 周遊観光ツアーの新規造成支援
- 観光スポットと関連した企画展示の実施



令和5～6年度の取組

主に令和4年度の取組を継続して実施するとともに、各取組の一層の深化を図ります。

重要業績評価指標（KPI）

KPI(滋賀県全体)	(単位)	事業開始前 (2021年)	2024年度ま での増加分
観光消費額	(億円)	1,328	972
シガリズム体験交流コンテンツ の売上額	(百万円)	0	6
本事業で新たに創出 された観光コンテンツ数	(本)	0	192
県外観光客リピーター率	(%)	64.8	6

4 産業経済

観光振興事業

予算額：47,821千円

コロナ禍により観光事業者が大きなダメージを受ける中、観光ニーズの変化に柔軟に対応するため、『一般社団法人びわ湖の素DMO』を観光地域づくり団体として育成し、周遊観光の促進と観光資源の「質」の向上に取り組むことで地域経済の活性化を図ります。特に本市の特徴である体験型観光に磨きをかけながら、米原駅を活用した広域観光と調和を図り、本市を訪れる交流人口の増加と地域の「稼ぐ力」の発揮を目指します。

（一社）びわ湖の素DMO の育成支援（18,300千円）

一般社団法人びわ湖の素DMOの運営を支援し、独自事業による周遊観光の促進や観光資源の「質」の向上を支援します。また、地域活性化起業人制度を活用してDMO（観光地域づくり法人）の登録を推進します。

観光振興

- 観光案内業務
- 周遊観光促進
- DMO登録推進



物産振興

- orite 米原の運営
- orite CONCE.の運営
- ふるさと納税支援
- 販売会への参加



体験型観光の促進（委託料8,000千円）

体験型観光の掘り起こしや販路確保を支援し、コロナ化を経て多様化・個人化する観光ニーズに応えるとともに、交流人口から関係人口、移住人口へ結び付ける契機を創出します。

【業務委託の概要】

全体

戦略策定

パッケージ化（統一した発信・販売）

米原「ならでは」の体験プラン30件造成を目標



個別

発掘

プラン造成

販路確保

運用支援

体験プランの掘り起こしから、体験プランの造成、情報発信、販路の確保、継続支援をトータルサポート



広域観光案内所の運営（委託料5,570千円）

滋賀県の東の玄関口として、米原駅観光案内所での米原市および近隣市町の広域観光案内を実施し、米原駅を中心とした広域周遊による滞在時間の延長を促進することにより、地域経済の活性化を図ります。

米原駅観光案内所

連絡通路

米原駅

R4.8月 連絡通路の開通により
米原駅東西自由通路とつながります。



周遊観光ツアー造成支援（補助金1,500千円）

市内の観光地2か所以上を含んだ10人以上の新規ツアーを実施した場合に補助金を交付し、市内周遊観光を促進します。

【補助金の概要】

- 補助対象者：旅行業者
- 補助要件：観光地2か所以上を含んだ10人以上の新規ツアーであって、市内で食事を行うもの
- 補助金額：1ツアー当たり 10万円（※加算最大5万円）
※市内事業者（バス会社、通訳、ガイド等）を利用した場合は加算あり



5 都市基盤

総合的空家対策推進事業

予算額:46,930千円

令和3年3月に策定した「第2次米原市空家等対策計画」に基づき、「空家にしない、させない、ほっとかない」を基本理念として、「**空家は放置すれば負の遺産、活用すれば地域の宝**」をスローガンに、空家を活用した移住定住の促進や地域コミュニティの活性化、市民の安全安心な生活環境の確保、良好な景観の保全を図ります。

しない（啓発）

◎ 空家バンクサポーター制度 186千円

・特定空家等の増加を抑制し、空家等を活用した移住定住を促進するため、空家所有者のバンク登録等をサポートする空家バンクサポーターを活用します。

◎ 各種媒体を活用した啓発 111千円

・固定資産税課税通知等を活用した啓発を継続実施します。
・各種イベントの開催やブース出展等による啓発を継続実施します。

◎ 空家版エンディングノート

・空家になる前に自宅の引き継ぎ方を考えていただくよう、エンディングノートへの記載を促進します。



ほっとかない（適正管理）

◎ 新規 空家除却支援補助金 1,000千円

・特定空家等になる前の空家等に対する除却支援制度を創設し、更なる市民の安全安心な生活環境の確保を図ります。（200千円×5件）

◎ 特定空家等除却支援補助金 1,500千円

・市民の生命や財産を脅かす特定空家等の除却費用を支援し、除却を促進することで、市民の安全で安心な生活環境の確保、良好な景観の保全を図ります。

◎ 空家所有者調査 300千円

・司法書士会等と連携し、空家所有者の調査を実施します。

◎ 米原市空家等対策協議会 152千円

・有識者等で組織する協議会を開催し、特定空家等の認定を進め、空家所有者への適正管理の徹底を促します。



させない（活用）

◎ 新規 米原市空家再生みらいづくり隊（地域おこし協力隊員） 9,306千円

・空家等を地域活性化の資源として活用して移住定住を促進するとともに、空家等を活用した生業づくりに挑戦する空家再生みらいづくり隊員を2名委嘱します。

【活動内容】空家バンクでの相談業務、空家を活用した生業づくり

◎ びわ湖の素・米原 住宅リフォーム補助金 17,500千円

・若者（子育て世帯）を中心とした移住定住と、空家活用に重点を置いた住宅リフォーム補助金を活用し、移住定住の促進を図ります。

【補助内容】既存住宅の改修、空家バンク登録物件の改修

◎ 空家地域活性化活用補助金 3,000千円

・空家を活用した地域活性化を促進するため、コロナ禍における新たな働き方や空家の価値を創造するための空家を支援します。

【補助内容】テレワークスペース、自治会活動拠点等への改修

◎ 総合的空家活用モデル事業 4,000千円

・市が協定を結んでいる(一社)古民家再生協会滋賀と連携し、空家バンク登録物件を活用したDIY改修教室や空家相談会等を開催します。

◎ 空家等家財道具処分補助金 500千円

・空家バンク登録の阻害要因である家財道具や仏壇の処分費用を支援し、登録を促進するとともに、所有者の管理意識向上を図ります。

◎ 空家総合相談窓口（空家・空地バンク） 9,283千円

・まいばら空き家対策研究会との協働により、空家・空地バンクを継続設置します。

単位：件	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3.12	計
空家バンク成約数	3	16	16	9	11	29	19	15	118